

神奈川県立湘南養護学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	令和2年度 神奈川県立湘南養護学校 第2回 学校運営協議会		
開催日時	令和2年11月2日(月) 9:50~11:05		
開催場所	湘南養護学校 会議室		
出席者	委員 6名 事務局 10名		
次回開催予定日	2月下旬		
問合せ先	神奈川県立湘南養護学校 副校長 樋笠 晴美 TEL 0463-34-7244 FAX 0463-34-8707		
下欄に掲載するもの	議事録	議事概要とした理由	
審議(会議)経過	<p>(1) 開会 委員6名 事務局10名の出席により、会は成立</p> <p>(2) 校長あいさつ ・分散登校・時差登校を踏まえ、感染防止策を講じて教育活動を行っている。実習等無事に行えた。今後、高等部修学旅行も控えている。 ・動画等もご覧いただき、忌憚ないご意見をお願いしたい。 ・県立特別支援学校の校名変更について【参考資料を参照】 ・設立40周年を迎えた。今後ともご協力いただきたい。できることを探し、教育活動を行っていきたい。</p> <p>(3) 会長(出縄理事長)あいさつ ・組織が変わるということで、進行の役を務める。ご協力を願いたい。 ・地域との交流が難しい現状がある。いろいろな知恵を出していただいで進めていききたい。</p> <p>(4) 学校運営協議員委員(6名)自己紹介 *事務局も自己紹介</p> <p>(5) 第2回学校評価部会 中間評価等に係る協議と承認作業 ○令和2年度前期教育活動報告 ・臨時休業中に行ってきた教育活動の紹介 (家庭学習の提供、教員の在宅勤務等) ・家庭での過ごしを支えるための取り組み</p>		

(通信の発行、相談の場の提供、児童生徒への個別の対応)

- ・ガイドラインの作成、給食ガイドラインの作成
- ・分散登校と時差登校での学校再開後の過ごしの様子
- ・通常日課再開後の様子

～感染症防止対策と学びの保障のバランスを取りながら～

- ・遠足、校外学習、校内実習・現場実習等での様子
- ・中学部での貸切バスでの修学旅行実施について

○中間評価「安心・安全な教育活動の整備と学びの保障」⇒後期に向けて

・湘南ブランドに基づく教育活動の展開を行っている。With コロナにおいての児童生徒の主体的な学びを引き出すための授業作りを継続していく。

・オンラインでの学習支援システム (G Suite for Education 等) が整ってきている。後期も ICT 機器の活用を推進していきたい。

・「人との関り」「自己理解・他者理解」を進めたい。集団規模や活動内容を精選し、友達との関りを学ぶ機会の設定について継続して取り組んでいきたい。

・地域等との協働についての取り組みについて、ご意見をいただきたい。

・委員から紹介していただいた地域情報局「心かよう街 中原」に情報を発信させていただいた。40周年記念学校作品展開催を予定している。地域の方に知っていただく機会としたい。

・三密を避け分散避難訓練を行った。感染症対策を講じながら環境に配慮した取り組みを継続していきたい。

【承認】中間評価について承認された

(6) 教育活動紹介 (教頭)

○かなちゃん TV「学校紹介ビデオ」視聴

○オンライン学部紹介～Google meet のシステムを用いて生中継～

- ・高2：グループ学習「逆算して時間を計算する」
- ・中学部：作業学習「紙工班」 作業学習の場面での構造化の紹介・目標設定の場面の紹介

・小4：生活「教室でなわとび」 写真カードを用いて順番を示している例や紹介カードの提示で呼ばれていることを理解している様子や個別の目標設定の様子を見ていただいた。

(7) 質疑応答・意見聴取

・基本的なことは理解されているのだなと感じた。高等部の黒板に漢字で表記されていたが、理解しているのだろうか。

・児童生徒の理解の実態に差がある。漢字が読める生徒もいれば、具体物の提示で内容を理解できる児童生徒もいる。具体物から写真等での視覚提示、写真

等から文字での表記と理解を進めている。

・学校の授業・行事を知らなさ過ぎたなと感じた。見て感じる分が大きかった。地域住民も同じかと思う。地域住民がどこまで学校の取り組みや様子を知っているのだろうか。学校の日を地域住民に知ってもらう働きかけをすることで、見る目が変わってくると思う。「知られていない」現状がある。何もなければよいが、何かあったとき、どんな関わりができるか良いのか考えさせられた。公民館の清掃だけでなく。公民館の様々な施設を利用していただいで、一緒になって何か取り組めたらよかったなと感じた。

・(校長) 清掃活動だけでなく、公民館利用を一緒に考えさせていただきたい。

・就学前の保護者の皆様との関りをさせていただいている。You tube での発信で地域の方が養護学校がどんなところなのか知っていただけるのは、とても良いと思った。崇善地区見守りボランティアの方に平塚駅で見守りをいただいでいる。一般の通勤で本校生徒とバスに同乗されている方は、どれくらい知ってくださっているのかなと感じた。市としても情報発信に協力していきたい。切れ目のない支援部会が有意義なものになるよう期待している。

・卒業生が大変お世話になっている。巡回相談でもお世話になっている。専門的な視点からの助言をいただき感謝している。コミュニティスクールの先駆的な取り組みとして参考にさせていただきたい。

G Suite for Education の紹介があったが、中学校でも GIGA スクールの取り組みが始まる。参考になった。取り組んでみて不便なところがあったら教えていただきたい。

・(副校長) 臨時休校中の取り組みとして活用してきた。IT 環境の整っていない家庭もあるので、家で見られるようにDVDの郵送を行った。様々な方法を考えないといけなかった。生中継で授業を行った事例もあるが、家庭と学校をどのようにつないでいくか持続的に取り組めるよう、今後も考えていきたい。

・(校長) 学校と家庭をつないでいく教員のスキルの問題がある。業者が入るわけではないので。家庭のニーズがどこにあるのかフォーカスしていくことが必要かと思っている。

・我が子は、漢字は全く読めない。絵から理解し、ひらがなを理解することにつながった。ひらがなで今日やることを提示できるようになったことで、スムーズに行動できるようになった。先生方の指導で、6年間でここまで成長できた。

・防災に力を入れているのか？

・地域の防災訓練に参加させていただいた。地域への発信が難しいのかと逆に感じた。避難訓練に参加させていただいたり、一緒に参加していただいたりすることも、地域との協働につながるのかと感じた。

・中原地区の避難訓練を昨日(11/1)行った。湘南養護学校が鈴川と渋田川の間にあることを心配している。何かあったときは、自治会として組織的に協力していきたい。親密にできることはないかといつも考えている。ざっくばらん

に伝えていただけると、一步進んだ形が見えてくるのかもしれない。

- ・「特別支援学校」への名称変更へのご意見はあるか？
- ・「養護学校」という響きは重度の方が通学されているような印象を持つ。「支援学校」の名称の方が、いいかなと感じていた。

(8) 事務連絡(副校長)

- ・「切れ目のない支援部会」を今後実施していく。仁和委員、合田委員にはまた別途連絡させていただく。ご協力をお願いしたい。
- ・次回学校運営協議会：2月に開催 詳細の日程は後日連絡
- ・(校長)「つなぐ」ということをポイントにしていきたいと思っている。今後ともよろしくをお願いしたい。

(9) 閉会